
空回り

kakio

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

空回り

【Nコード】

N2178F

【作者名】

kakio

【あらすじ】

何かアクションを起こそうとする時に必ずといっていいほどに引っ掛かる抽象的な障害を完全に克己するのは困難という他ねえ！。

机の上に散乱したコーラやらコーヒーやらビールやらの空き缶を弾き飛ばすように、お前等みたいなただのゴミとは違うのだというはつきりとした主張をしているように見えるテレビ兼パソコンモニターが。

その前に座って、必死こいてキーボードを叩いている者こそが俺である。

28歳。まあ年齢などこの際関係ないだろう。

永遠の17歳。イエーイ。などと考えるほど落ちぶれてはないつもりだが、まあまあそういうどうでもいいことは忘れようじゃないの。

年齢とかいちいち気にするのは野暮というものだ。

しかしながら、小説を書こうという人がこれほど多いとは思わなかった。

こちらの勉強不足だといわれればそれまでだが、何かしらの自己表出をしたいという奴がかなりの数いるという訳だ。

全く持ってうんざりする。

そついうくだらない自意識はそのままずっと内に秘めて死ぬまでそのままにしておけばいいのに。

という俺もその一人だった。

自分を特権的な位置に置くというのが、彼の欠点だった。

他の欠点を上げだしたら時間がいくらあっても足りないので、述べる機会がもしあれば述べていく事にする。

今気づいたのでいっておく。

年齢など聞いていないのにいきなり述べだすこいつは頭のイカれたただの馬鹿だということだ。

というわけで、28歳はこれからの展開にとって全くの無意味で

ある。

というかこれから先でてこないだろう。多分。
そういうわけで、今までの文章は労力の無駄だということになっ
た。

なんということだ！ 早速登場人物が消えてしまうなんて！
退場者に構い続けてもバカらしいので先に進む。

(後書き)

空回り

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2178f/>

空回り

2010年12月18日14時29分発行